

## 3

## JPVRC 施工部会

## 3.1 JPVRC の目的と組織

日本压力容器研究会議（JPVRC：The Japan Pressure Vessel Research Council）は、米国压力容器研究委員会（PVRC）に対応する国内組織として、国内研究の実施取りまとめおよび米国との技術交流の実施を目的として1977年に設立された。

JPVRC傘下の3部会として、JPVRC材料部会（事務局：日本鉄鋼協会）、JPVRC設計部会（日本高圧力技術協会）およびJPVRC施工部会（日本溶接協会）で構成されており、JPVRC運営委員会を組織して3協会共同運営されている。

JPVRC 施工部会は、（一社）日本溶接協会の3部会（溶接材料部会、鉄鋼部会、機械部会）と2委員会（化学機械溶接研究委員会、規格委員会）のサポートのもとに活動し、これらの部会または

委員会の活動のなかで、JPVRCと米国PVRCおよびEPERC（European Pressure Equipment Research Council）の3極協力プロジェクトへの報告すべき内容の検討と、これらからもたらされた情報のうち施工部会として検討すべき問題の処理を行っている。

最近の動向として、PVRCおよびEPERCが積極的な活動を控えている状況が続いている。そのため、JPVRC運営委員会では、今後どのような取り組みとするかの検討を行い、情報共有の場としてJPVRCを継続していくことで合意された。これまでの経緯を踏まえつつ、JPVRC施工部会としても、情報共有に目的を絞った活動にするとともに、今後の方向性とあり方については継続的に探索している状態である。

## 3.2 最近の活動報告（2009～2018年）

JPVRC会長は、JPVRC-3部会の持回り規定により、2015-2016年度の1期2年間は、施工部会長（結城・IHI）が担当した。2017-2018年度の2年間は、設計部会長の島川貴司氏（川崎重工業）が会長に就任、施工部会長（南二三吉・大阪大学）は副会長に就任して現在に至る。

JPVRCの活動としては、具体的には以下の諸活動を実施してきた。

- ・JPVRC施工部会会合：2回／年
- ・JPVRC運営委員会会合：2回／年

<主な研究テーマ>

- ① Flange & Gasket 関係  
Leak tightness（JPVRC設計部会対応）
- ② Fitness-for-Service 関連  
Guidelines for repair by welding

（JPVRC施工部会対応）

③ Creep Damage Assessment 関係

Triaxiality in creep damage

（JPVRC材料部会対応）

なお、施工部会委員は、JPVRC運営委員会委員を兼任することになっており、運営委員会の活動についても参画してきた。

今後、年間2回であった運営委員会が、2019年度から年間1回の開催となる為、施工部会の連絡会議もそれに合わせて、各部会・研究委員会の活動状況について情報交換するとともに、JPVRCからの情報に基づく審議・検討を行っていく。

最近、欧州のEPERC活動が再開との情報もあり、今後の動向に留意してゆく所存である。